

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者一人ひとりの思いや意向の把握不足があり、スタッフの思い込みで支援を行っていることがある。	入居者全員の一人ひとりの思いや意向をしっかりと把握し、スタッフ全員が共有し、思いや意向に副った暮らしが出来るように支援していく。	入居者一人ひとりの思いや意向ををスタッフ全員で本人本位で再検討し、思いや意向に沿った支援をしていく。	6ヶ月
2	4	グループホームの力を活かした地域貢献	運営推進会議を活用し、地域と協働、連携を図り、地域貢献に繋げていく。	地域活動への参加を増やす。 もみじ苑での積み上げてきた認知症ケアの実践経験を啓発していく。	1年
3	33	設備、医療連携などで当苑で出来ることが限られているため、重度化、終末期に向けた取り組みが出来ていない。	重度化、終末期の支援が出来るようにする。	医療関係者との協働と連携を図る。 設備の改善の検討。 マニュアルなどの整備。 チームとしての体制作り	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。